

人はなぜ存在するのでしょうか？ なのために生まれ死んでいくのでしょうか。 いくら考えても謎であるのが普通で、よくわからないのが娑婆世界での解答です。 ただ、知る人ぞ知るのが靈的に強くて、深い心（心の世界）にいらっしやる人たちです。 悟りの心を天の神様に入れていただきやすい方は、いろいろな感覚で教えてもらえます。 なぜ人が存在するのは、いつか皆が素晴らしい心を得られて明るく楽しく暮らせるようになるための修行であり、人のつらさや苦しみ、悪事をしてしまう人のことも理解できます。「罪を憎んで人を憎まず」、これができる人は、必ず成仏ができる人だそうです。 私たち人は、宇宙の世界の一員であり、いつか皆が有頂天（天界でもっとも素晴らしい最高峰）で、仲良く幸せに暮らすため、今はいろいろな難行苦行したり、恨んだり憎んだり、貶め合ったり、助け合ったり、人の情けに感謝したりして、経験値を積んで魂を磨いているそうです。

人は仏様に命を授かっていますから、皆、仏心（良心）をお持ちになっいて、慈悲慈愛の心があるそうです。 しかし、現実には暮らしていくには、人を押し退けても自分を大事にしてしまう煩惱も芽生えてしまうので、そこでカルマや因縁を積んでしまい、人に偉そうにして無理強いしたり、けんかして勝ったりして、人に勝てば勝つほど、カルマや因縁は増えてしまい、後々厄介なことになっていくのだそうです。 勝気な人は常に苛立ち、瞋恚の心、怒っていて落ち着きのなきがどんどん膨らみ、コントロールが難しくなっています。 人に当たり散らして、この世でも地獄、そして因縁を大事に持って、崇り神もつけた状態である世でも無間地獄へと陥って

しまうそうです。そうしたことを続けていると、人に当たり散らしたまま、因縁は大きな黒い渦となっていき、悪魔や祟り神、悪霊の巣窟として育ち、憑依など、邪魔ばかりされて、その人の大切な人やものをすべて取り上げられたり、大病にされたり、事故を引き起こされてしまうようなことにもなりかねません。人を大切にしたり、施しをしたり、守護神様や、仏様、ご先祖様のご供養、親孝行を大事にされる方は、ひどい霊障や流れが悪くても、その環境でも守っていただいで、よくなるように教えていただいたり、助けていただいたりしていることもあると思います。さほど大きなことにはならず、普通に暮らしていられる人は幸せでしょう。